

一般質問から

エネルギーの地産地消の推進について

Q 東日本大震災から一年。福島第一原発事故後、エネルギーの供給・使用の在り方が厳しく問われている。

「脱原発」を進め、再生可能エネルギーによる地産地消の仕組みづくりが、今こそ必要。平成22年度から、国の補助制度を活用し、住宅用太陽光発電設置補助を行ってきたが、平成24年度は廃止した。その理由と今後の再開予定について伺う。

A 市民の意識を高めていくツールとして助成金の必要性は認識している。24年度は、国の補助対象となる事業は、公

3番 矢澤 江美子

共施設や防災拠点等に対する再生可能エネルギー導入支援事業となった。八潮市は環境基本条例に則り、環境基本計画やISO実施や地球温暖化対策実行計画（事務・事業編）を作成し取り組んでいるが、今後については、財源の問題もあるため、国・県等の他の補助制度の確認を行う。仮に市単独で実施する場合でも、市民が長期的に使えるシステムが必要を、助成の対象等を検討し、取り組んでいきたい。

学習指導要領の改訂に伴う体育の授業の安全確保について

Q この4月から中学校で武道必修化になり、市内中学校でも柔道、剣道、相撲の中から一つ選び1、2年は必修、3年は球技との選択になります。ところがこのところ18歳以下の学校管理化における柔道事故による死亡事故は28年間で114名、275名が重い障害を負う事故が続いてきたことが分かりました。しかし武道必修化は延期しないと文科省の回答です。指導する教師に医学的な知識や、適切な指導方法、安全への配慮など指導者研修はされていますか。

9番 池谷 和代

A 指導者研修については県教育委員会が主催し実技講習会が体育科教員対象に夏季休業中に2日間行われています。また、武道の必修化に伴い本市教育委員会が主催して八潮市柔道連盟の協力を得ながら、本年度9月初めに、保健体育科教員全員を対象とした指導者講習会を実施します。そして、これまでも最も重視してきた学習規律と安全対策に一層努めます。

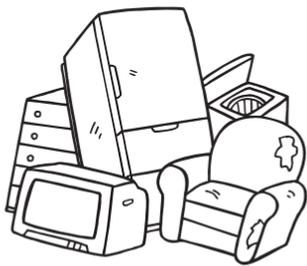
不法投棄対策について

Q 最近市内でゴミの不法投棄をよく目にします。不法投棄は、景観を損ねるばかりか、一歩間違えれば自転車の接触による交通事故も危惧されており、不法投棄に対する市の考えを伺います。

A 不法投棄につきましては、日常、職員がパトロールを実施しており、不法投棄を発見した場合は、道路管理者や公園管理者などと協力し、所有者が判明しない場合は、リサイクルプラザにおいて処分するなど、市民生活に影響を及ぼさないよう処理しております。交通に支

6番 大山 安司

障がある場合は、一時的に市で保管するなど迅速に対応しております。また、不法投棄防止看板の設置や不法投棄されやすい場所を重点的にパトロールするなど、効率的な対応を今後も実施してまいります。



「空き家」問題について

Q 放置された木や草の繁茂、門扉等の無施錠による不審者の立ち入り、未撤去のガスボンベによる放火、冬季水道管凍結による破裂など、景観悪化、防災や防犯面の不安につながる「空き家」が各地で問題となっている。

1番 福野 未知留

今後、市民の良好な住環境を確保するため、管理不全な所有者に適正管理等を促す条例（いわゆる『空き家条例』）制定への取り組みは有益と考える。本市のご見解を伺いたい。

A 気にかかる建物があったとしても、私たち市民には相談窓口がわかりづらい。

加えて、八潮市は高齢者単身世帯・高齢者夫婦世帯が増加しており、持ち家比率が8割強と圧倒的に高い。対岸の火事ではないと感じる。

本市における空き家問題の現状では、相談内容に对应し、各部署において適正な指導をもつて、対応できると考えている。このようなことから、『空き家条例』の制定について、現状においては、その必要性について考えていない。

広報行政について

Q 動画を利用した市の広報について、ケーブルテレビ、ユーチューブ、ユーーストリムなど、動画の配信方法が進歩しています。

誰でも気軽に動画の配信ができる環境が整ってきましたが、市の考えについて伺います。

A 動画配信は、市としても広報PRのツールの一つとして有効と考えております。市制施行四十周年を記念して、「やしお進化論」を作成しましたのでユーチューブからの配信を検討したいと考えております。

19番 森下 純三



教育施策について

Q 習熟度授業が本市でも行われているようですが、どのような視点で行われているのでしょうか。

18番 鹿野 泰司

A 「本市で行われている習熟度授業は、「子ども一人ひとりが分かる授業」に視点を置いて、主に算数・数学の少人数指導で実施しております。少人数指導の編成にあたっては、テストの結果だけで編成するのではなく、各コースの学習指導の内容を説明し、児童・生徒の希望により編成しています。各コースの学習指導方法は、学習課題を共通に設定し、一時

間で確実に身につけることができるよう、きめ細やかな指導力を入れております。さらに、一人ひとりが自力で学習活動を進められるよう、課題解決の手立てや学習形態を工夫することで、児童・生徒にとって「わかる授業」を実践しております。

